



年頭挨拶

平成二十九年 元旦

三重中央農業協同組合 代表理事組合長 片岡 眞郁



新年明けましておめでとうございます。
年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、農業・JAにとって大きな環境変化の年でありました。60数年ぶりに行われた改正農協法の施行、規制改革推進会議農業ワーキンググループの現場を無視した急進的な提言等、厳しい情勢に直面した中、引き続きJAが総合事業により、農業と地域との振興を継続し、JAの役割を発揮し続けるためには、JA三重中央は、自己改革に取り組まなければなりません。

地域農業は、農業従事者の高齢化や担い手不足・農畜産物価格の低迷など、厳しい環境であります。地域農業をリードする担い手の確保、育成はもとより、三重県の特徴である家族農業を基本とした農業生産活動の維持・拡大が重要な課題になっていきます。また、人口の減少・高齢化社会の到来により、地域における農業・医療・福祉への不安など暮らしに関する様々な課題もあります。このような厳しい環境の中、JA三重中央は、このような環境を改めて初心にかえるチャンスと捉え、地域協同組合を目指すべく自己改革に取り組んでまいります。

JA三重中央は、自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基に、組合員・地域の担い手の方の声を聞き、話し合い、これからの事業計画に少しでも取り入れスピード感を持って事業運営にあたってまい

ります。昨年12月に初めて聞かせて頂きました地区別座談会におきましても、地域農業に対するご意見等も多数お聞きすることができ、感謝いたしております。ありがとうございます。

また、「食と農を基軸とした協同組合」として、地域に根ざしたJAの強みをさらに活かし、協同組合活動の実践による「元気な地域」づくりに、組合員・地域住民と共に地域の活性化に貢献してまいります。

昨年4月にJA三重中央100%出資の農業法人、株式会社「JAアグリサポートだいち」がスタート致しましたが、地域の抱える農業の課題も検討し、組合員、地域の方々のご協力をいただき運営してまいりたいと思っておりますのでどうか宜しくお願いたします。

新年を迎えるにあたり、私どもJA三重中央 役職員一同は、当農協創設以来の基本方針である、『営農指導の実践・健全経営の堅持・地域社会への奉仕』を忘れることなく、これから取り組んでまいります「JA三重中央自己改革」を組合員・地域住民と共に実現していく為に、新たな思いを胸に総合事業を展開し継続してまいります。

本年もこれまで以上に変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

